

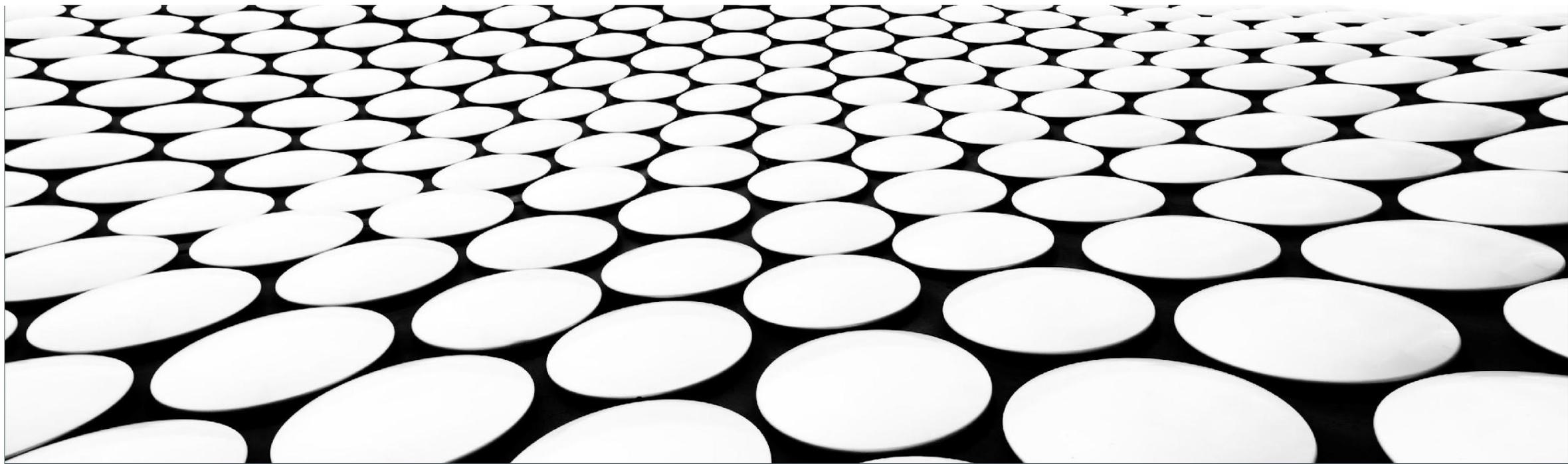
**総合診療医の先生方のお力を、
地域医療に使ってください**

～総合診療かかりつけ医が患者を救う～

第24回日本病院総合診療医学会学術総会

きくち総合診療クリニック 菊池 大和

演題発表に関連し、発表者らに開示すべき
COI関係にある企業などはありません



開業して、地域医療には総合診療が必要だと、毎日感じています。

日本には、クリニックは多いですが、総合診療クリニックは数少ないです。

総合診療クリニックが、必要だと思う理由をお示ししたいと思います。

厚生労働省

2015年 「保健医療2035提言書」

(総合的な診療を行うことができるかかりつけ医のさらなる育成が必須であり、今後10年間程度ですべての地域でこうした総合診療を行う医師を配置する体制を構築する)

総合的に診れる先生方が開業しないと、不可能ではないか

国レベルでは

厚生労働省 HP かかりつけ医

「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要なときには専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」

現実には、全然違う



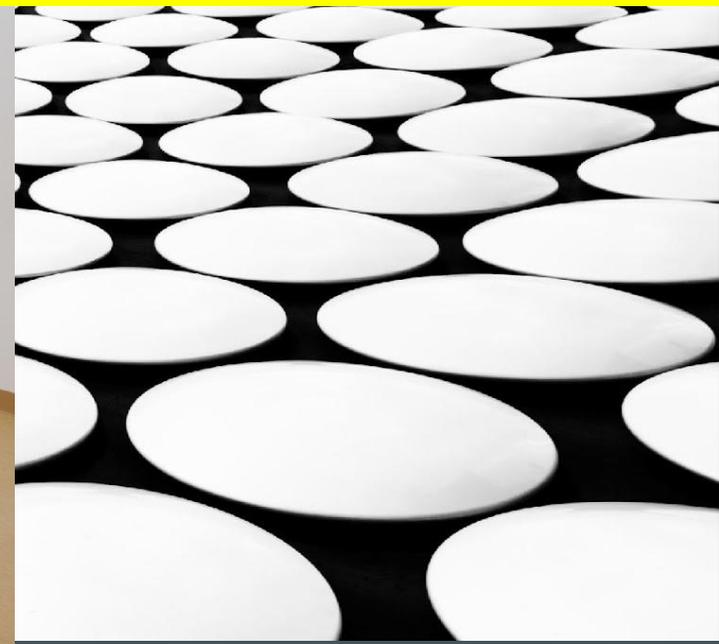
私は、2004年福島県立医大を卒業し、
外科と救急に従事
2017年 きくち総合診療クリニック開業



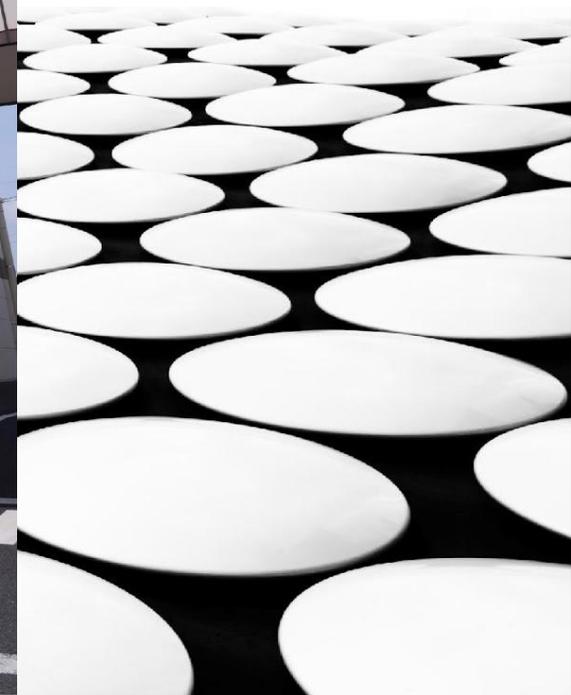
**4月で開業して5年
神奈川県綾瀬市人口8.3万人
3.5万人が当院に受診歴**



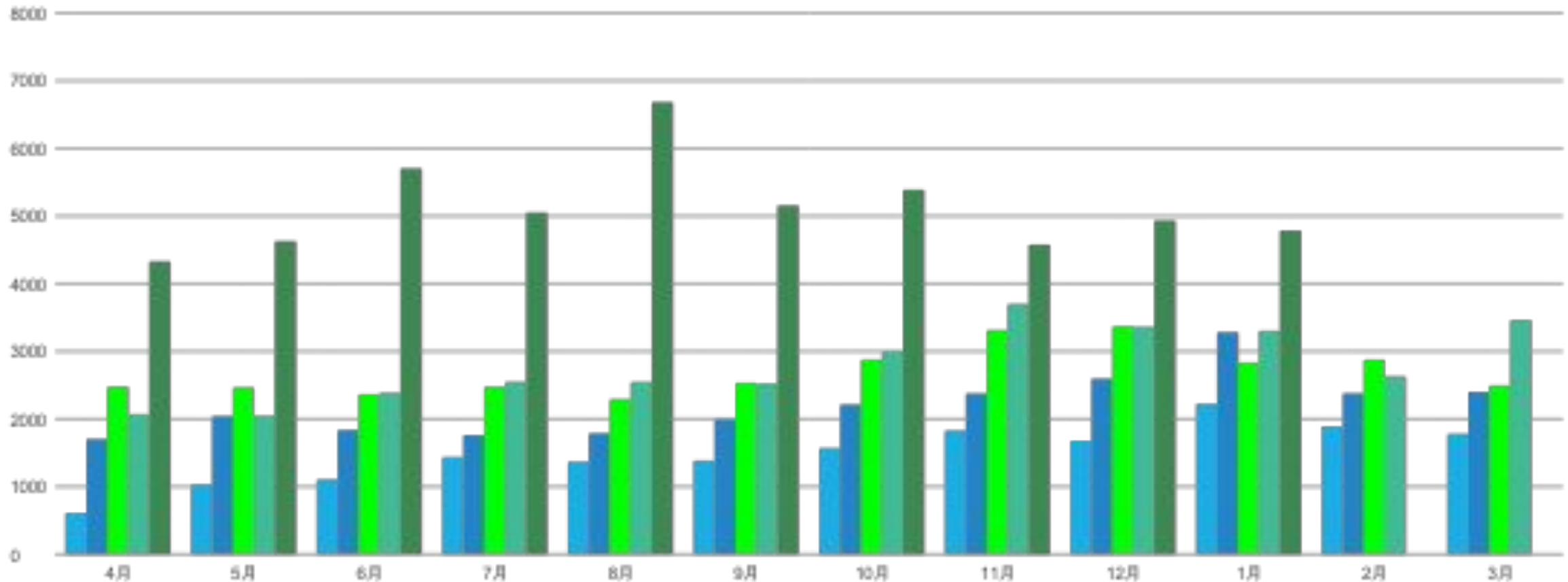
医師 常勤1人 非常勤8人
看護師 常勤3人 パート8人
放射線技師 常勤2人
臨床検査技師 常勤1人
理学療法士 常勤2人 パート1人
医療事務 常勤3人 パート9人



1日250人～300人
1年で700件の総合病院
への紹介



月別延べ患者数



総合診療クリニックは、地域のニーズが高いです



**2036年には
3人に1人が65歳以上（多くの方が、病気を
複数もつ）**



高血压4000万人 心疾患 170万人

脑疾患110万人

認知症700万人 要介護600万人

糖尿病1000万人

脂質異常1400万人 骨粗鬆症1300万人

腰痛3000万人

地域医療の理想

自分のかかりつけ医（総合診療医）を持ち、

まずどんな症状でも診てもらえる

必要だったら、総合病院に紹介してくれる
（医療のすみ分け）

日本には、10万弱のクリニック 毎年徐々に増加

北海道 横ばい
東北 減少

関東 増加(毎年200件増)

甲信越 減少 北陸 減少

中部 増加(毎年30件増)

関西 増加(毎年20件増)

中国 減少 四国 減少
九州 減少 沖縄 減少

今後、地域医療格差がどんどん進む。

クリニック院長 全国平均年齢 66歳

クリニックは、10年で1万軒増加

医師の開業志向は強いが

東京・大阪などの都市部の開業増加→患者の獲得競争で苦戦

地方では、開業少なく廃業増える

後継者いない(73%)

都会でも地方でも、専門性の高いクリニックがほとんど。

現実(患者さん叫び)

- ①この症状は、どこにいけばいいんだろう
- ②クリニック間でのたらいまわし
- ③主治医がたくさんいる(薬が増える)
- ④いざというときに、どこにいけばいいかわからない
- ⑤総合病院をかかりつけにしているため、主治医がいないときは診てくれない
- ⑥熱がでたら、どこのクリニックも診てくれない

現在の日本のクリニックの問題点

- ★高齢の先生が多い
- ★若い先生が開業しても専門性が高い
- ★さまざまな病気をもつ患者には弱い
- ★緊急疾患に弱い

もっと、クリニックを若返りさせ、医療
レベルをあげて、地域医療・患者さん
を守る必要がある

この現実を、理想にできるのは
総合診療できる先生方なんです。
いろいろな知識を持ち、総合的に診ることが
できる先生方なんです！

→開業しませんか？
日本中に総合診療クリニックを
増やしませんか？

私の言う「総合診療クリニック」とは…

いつでも、なんでも、だれでも、**まず** 診るクリニック

検査機器が充実しているクリニック

近隣の総合病院と緊密に連携しているクリニック（顔が見えている関係）

一人でやる必要はない

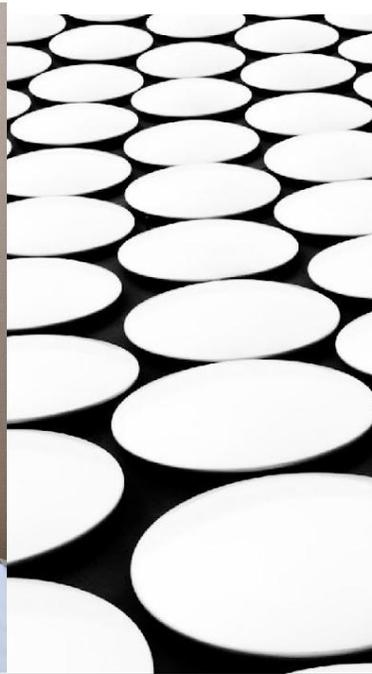
医師数人の診療体制

総合診療かかりつけクリニックでは

- ①いつでも、なんでも、だれでもまず診る
- ②検査設備が整っている
- ③急患を受け入れる
- ④家族みなを受けられる
- ⑤検査や薬の重複を避けられる
- ⑥昔からの経緯をわかってもらえる

私の考える総合診療かかりつけ医とは

生活習慣病、呼吸器疾患、心疾患、脳疾患、内科救急、
外科の縫合・固定、眼科・耳鼻科・皮膚科疾患、認知症
心療内科(うつ、不眠、適応障害)
レントゲン、CT.MRIをある程度読影



コンビニ受診

軽症の方が、夜間や休日に総合病院救急外来に受診すること＝勤務医が疲弊

→総合診療クリニックに受診すればいい

はしご受診

同じ症状で複数の医療機関に受診し、
検査・薬の重複

＝医療費増大、ポリファーマシー問題

→総合診療クリニックに受診すればいい

65歳以上の高齢者が
2025年には約30%、2060年には約40%
に達する

→地域包括ケアシステム（住み慣れた場
所で医療介護を受け最期を迎えられるよう
に）

国が推奨する
「地域包括ケアシステム」だって、
総合診療かかりつけ医がいないと、
できない





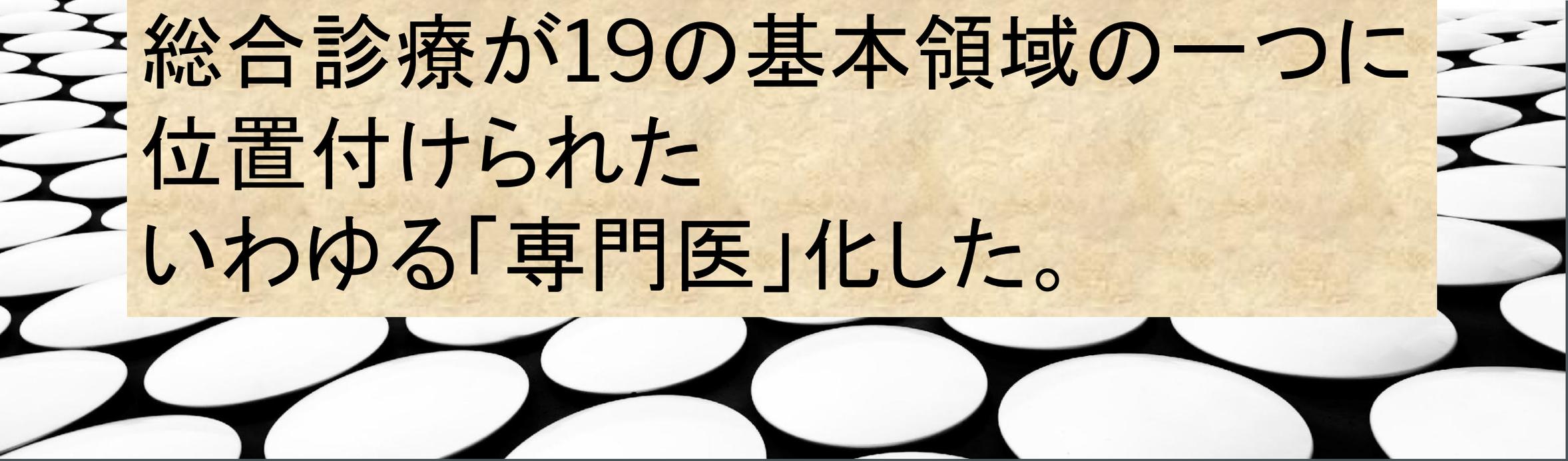
2018年

専門医制度が改訂

総合診療が19の基本領域の一つに

位置付けられた

いわゆる「専門医」化した。



私は
総合診療専門医取得も大事だと思いま
すが、**取得後どこでなにをするのか**
が大事だと思います。

その先生方が、総合病院や大学病院だ
けにいるのは**もったいない**と思っ
ています。

各大学病院に、

総合診療かかりつけ医開業プログラムを作ったらどうでしょうか。

卒業10年前後で開業できるプログラム
(自治体や大学病院が、資金面・人材面でサポート)

総合診療医は、総合病院・大学病院にも必要ですが

医療の入り口であるクリニックには、**もつ**
と必要です！

先生方、総合診療クリニックを開業しませんか？

CT,MRIをいれて、総合病院と同じレベルの検査ができるクリニックです。

やりがいがあります！！

医療の始まりも終わりも、総合診療です。
今、先生方の総合診療力を、
地域・患者さんが必要としています。
総合診療クリニックを、日本中に増やしませんか？



ご清聴ありがとうございました。

「総合診療かかりつけ医」が

患者を救う



菊池大和
KIKUCHI YAMATO

地域医療が重視される時代 社会に求められる「本当のかかりつけ医」とは

地域医療に尽くす医師が提言する
地域開業医に求められる、
かかりつけ医としての使命



幻冬舎出版 幻冬舎
定価990円(本体900円+税10%)

開業に興味のある先生は
当院ホームページから、ご連絡ください。
日本中に、総合診療クリニックを拡げま
しょう！！

